

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社イナリサーチ

コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中川博司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 社長室長

(氏名) 野竹文彦

TEL 0265-73-6647

四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,119	△25.5	△38	—	△73	—	△116	—
23年3月期第3四半期	2,844	20.4	△15	—	△76	—	△72	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △144百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △108百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△3,900.41	—
23年3月期第3四半期	△2,401.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,511	1,697	36.1
23年3月期	5,170	1,862	34.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,626百万円 23年3月期 1,787百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	700.00	700.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	800.00	800.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,049	△22.5	56	△56.5	15	△79.3	△75	—	△2,489.06

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	29,982 株	23年3月期	29,982 株
24年3月期3Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期3Q	29,982 株	23年3月期3Q	29,982 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における主力事業である非臨床試験では、基盤となる大手医薬品業界からの非臨床試験受託が、長期試験を中心に低迷いたしました。また、受託研究機関(Contract Research Organization)間の受注競争は激しく、受注単価が下落し、売上及び収益ともに厳しいものとなりました。しかしながら、ベンチャー企業や大学等を中心に試験需要は増加しており、市場は回復の兆しを見せつつあります。

当社グループは、この厳しい経営環境に対処すべく、経費の削減や特質化を図りながら価格競争力を強化するとともに、新規顧客の取り込みを進めております。

臨床試験では、米国の提携先であるCardiocore Lab, Inc. (所在地 Rockville, Maryland, USA)の代理店として、かねてより取り組んでおりましたThorough QT試験(サロ・キューティー試験)を始め、臨床第I相～第IV相試験における心電図解析業務について営業活動を行ってまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間において、国内医療機関で実施される小規模及び大規模な臨床第I相試験に付随する探索的QT試験を、複数受注することができました。Thorough QT試験につきましても、関連ガイドラインの施行により引き合いが増加しており、これに対してより一層営業活動を強化してまいります。

また、資産効率の向上及び財務体質の強化のため、現在臨床試験実施施設であるフィリピンにある子会社Ina Research Philippines, Inc. (以下「INARP」と言います。)の、ラグナ研究所(所在地 Laguna Technopark, Binan, Laguna, Philippines)の閉鎖・売却を決定いたしました。フィリピンにおける臨床試験は、現地医療機関との協業及び委託に切り替えることで、事業を継続いたします。なお、INARPのサル飼育供給施設(所在地 Sto. Tomas, Batangas, Philippines)は引続き所有し、高品質サルの供給に努めてまいります。

環境では、前年同四半期は動物飼育器材の大口売上がありましたが、当第3四半期連結累計期間は保守業務が中心であり、売上及び収益ともに前年実績を下回りました。

こうした結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は2,119,681千円(前年同四半期比25.5%減)、営業損失は38,701千円(前年同四半期は営業損失15,713千円)、経常損失は73,451千円(前年同四半期は経常損失76,305千円)、四半期純損失は116,942千円(前年同四半期は四半期純損失72,012千円)となりました。なお、INARPラグナ研究所の減損損失69,312千円を当第3四半期連結累計期間に計上いたしました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 非臨床試験

当第3四半期連結累計期間における売上高は2,025,356千円(前年同四半期比7.9%減)、営業利益は22,262千円(前年同四半期比51.5%減)となりました。受託契約獲得に注力し業務の効率化を進め、経費の削減に取り組んでまいりましたが、受注価格及び稼働率低下の影響を受け売上及び収益ともに前年実績を下回りました。

② 臨床試験

探索QT試験が売上となり、また大規模なものを含めて複数の探索QT試験を受注し治験実施中ですが、現状では経費が先行しております。売上高は17,123千円(前年同四半期は売上高982千円)、営業損失は36,212千円(前年同四半期は営業損失40,189千円)となりました。

③ 環境

保守業務等により、売上高は77,202千円(前年同四半期比88.0%減)、営業損失は24,751千円(前年同四半期は営業損失21,462千円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当四半期末の資産、負債及び純資産の状況

資産の部の残高は4,511,148千円となり、前連結会計年度末と比較して659,100千円減少しました。本減少は主に、売掛金の減少によるものであります。

負債の部の残高は2,814,105千円となり、前連結会計年度末に比べ493,765千円減少しました。減少の主な要因は、短期借入金及び長期借入金の返済によるものであります。

純資産の部の残高は1,697,043千円であり、前連結会計年度末に比べ165,334千円減少しました。本減少は主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年12月20日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	395,056	223,607
受取手形及び売掛金	514,217	301,620
商品及び製品	3,273	2,111
仕掛品	745,751	703,421
原材料及び貯蔵品	259,444	222,970
その他	171,426	196,090
貸倒引当金	△6,668	△44
流動資産合計	2,082,501	1,649,778
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,630,703	3,567,646
減価償却累計額	△1,778,912	△1,888,339
建物及び構築物(純額)	1,851,790	1,679,306
土地	819,982	815,907
その他	972,338	959,719
減価償却累計額	△715,991	△733,548
その他(純額)	256,346	226,170
有形固定資産合計	2,928,120	2,721,385
無形固定資産	113,910	95,136
投資その他の資産		
その他	39,086	39,407
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	38,186	38,507
固定資産合計	3,080,216	2,855,028
繰延資産	7,530	6,341
資産合計	5,170,248	4,511,148
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	330,230	187,109
短期借入金	320,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	428,104	424,104
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	44,512	3,267
前受金	630,188	666,720
賞与引当金	83,867	27,780
その他	162,301	222,386
流動負債合計	2,059,204	1,841,368

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
固定負債		
社債	240,000	210,000
長期借入金	752,914	528,461
退職給付引当金	2,535	2,682
役員退職慰労引当金	53,425	52,825
その他	199,791	178,769
固定負債合計	1,248,666	972,737
負債合計	3,307,871	2,814,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,790	684,790
資本剰余金	600,790	600,790
利益剰余金	576,017	438,087
株主資本合計	1,861,597	1,723,667
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△73,958	△96,877
その他の包括利益累計額合計	△73,958	△96,877
少数株主持分	74,738	70,253
純資産合計	1,862,377	1,697,043
負債純資産合計	5,170,248	4,511,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	2,844,289	2,119,681
売上原価	2,233,478	1,611,024
売上総利益	610,810	508,657
販売費及び一般管理費	626,524	547,358
営業損失(△)	△15,713	△38,701
営業外収益		
受取利息	140	112
受取賃貸料	8,125	6,730
その他	2,150	2,865
営業外収益合計	10,416	9,708
営業外費用		
支払利息	33,396	26,667
為替差損	29,644	9,911
その他	7,967	7,879
営業外費用合計	71,009	44,458
経常損失(△)	△76,305	△73,451
特別利益		
固定資産売却益	—	405
貸倒引当金戻入額	1,567	—
特別利益合計	1,567	405
特別損失		
固定資産除却損	582	—
減損損失	—	69,312
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,413	—
特別損失合計	1,996	69,312
税金等調整前四半期純損失(△)	△76,734	△142,359
法人税、住民税及び事業税	4,058	4,626
法人税等調整額	△9,820	△30,979
法人税等合計	△5,761	△26,353
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△70,973	△116,006
少数株主利益	1,039	935
四半期純損失(△)	△72,012	△116,942

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△70,973	△116,006
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△37,288	△28,340
その他の包括利益合計	△37,288	△28,340
四半期包括利益	△108,261	△144,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△101,687	△139,861
少数株主に係る四半期包括利益	△6,573	△4,485

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計(注)
売上高				
外部顧客への売上高	2,197,951	982	645,355	2,844,289
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,197,951	982	645,355	2,844,289
セグメント利益 又は損失(△)	45,939	△40,189	△21,462	△15,713

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計(注)
売上高				
外部顧客への売上高	2,025,356	17,123	77,202	2,119,681
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,025,356	17,123	77,202	2,119,681
セグメント利益 又は損失(△)	22,262	△36,212	△24,751	△38,701

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「臨床試験」セグメントにおいて、子会社が保有する臨床試験施設の売却意思決定を取締役会にて決議したことに伴い、当該資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を固定資産の減損損失として計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は69,312千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。